

『エネルギー基本計画』で原発の活用拡大は許さない！ 今年こそ 老朽原発の廃炉！そして原発のない世界へ！

政府は「エネルギー基本計画」から「原発依存の低減」の言葉を削除しようとしているが、現実には原発の競争力は太陽光発電以下となり、再稼働するには数千億円の経費、まして新增設は1兆円以上。

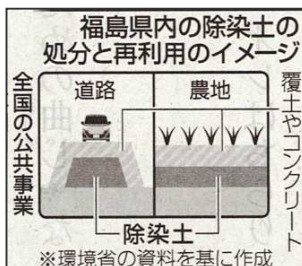
世界では廃炉時代を迎え原発は大幅に減少し、一方で太陽光発電や風力発電は増加し、蓄電システムの拡充とともに基幹電力となろうとしている。G7閣僚会合でも、2030年に再エネ発電の3倍増と蓄電装置の6倍増が目標とされた。今年こそ日本でも老朽原発の廃炉と原発のない社会を目指したい。

昨年末には、大阪ガスが太陽光発電を無駄にしないために、大型の系統蓄電所を大阪と九州に建設することを発表した。また新型のペロブスカイド太陽電池の大量生産が始まることが報道された。

老朽原発の廃炉の闘いと合わせて、大手電力会社・関連企業と一体の官僚・学者によって妨害され抑えられてきた再生エネシステムの拡大をめざそう。

原発事故の汚染土で全国を汚染する 「再利用」計画は中止せよ！

政府は12月20日の閣僚会議で、原発事故に伴う除染で出た「汚染土」の再利用の具体策を、来年春までに決定するとした。政府は2045年3月までに県外での最終処分を約束している。事故炉の「汚染水」を海洋投棄するのと同じように全国に「汚染土」を撒き散らそうとしている。農作物や地下水の全国的汚染を拡大することになる。中止すべきだ。



使用済核燃料は電力会社の「大資産」 原発を止められない関西電力

何の展望もない原発再稼働

関電は高浜1,2号機の50年超えの再稼働をしようとしている。原発は事故が起こらなくても老朽対策、安全対策、地域対策、廃炉と核汚染物処理だけを考えても、すでに太陽光発電などより劣位である。まして新增設は企業の力で建設できるものではない。

使用済核燃料による粉飾決算の維持が原動力

原発が続けられている限り、使用済核燃料は再処理の原料として「資産」と粉飾される。2020年の関電の試算表では、「加工中等核燃料」として4千億円以上が資産となっている。関電社長は、再処理が成功するとは思っていない、無責任にも、自分の任期中は再処理工場は建設中で、使用済核燃料は「宝」であってほしいと思っているのだ。

関電の財務諸表の資産 (2020.3) 単位: 百万円

固定資産	原子力発電設備	394,525
核燃料	装荷核燃料	65,873
	加工中等核燃料	443,439

日本戦没学生記念会 (わだつみ会)を支援ください

わだつみ会は「戦争によって流された血は、ふたたび、それが決して流されぬようにすること以外にはつぐなわれないとの信念によって1950年設立され、死者の遺念を継いで思索し、発言し行動する、不戦・反戦・平和の団体です」(趣意書)

再び戦争の足音が近づき、自衛官が靖国神社に参拝し、「特攻」で命を奪われた学徒や若者たちが「散華」と美化され始めています。

戦争準備に対して、わだつみ会こそが対決し、子ども達と学生・青年が再び戦場に駆り出されることのないように闘わなければならないと思っています。ぜひともわだつみ会に入会いただき、反戦・非戦のために闘われるよう呼びかけます。

関西わだつみ会の 機関紙「海」を購読ください

関西わだつみ会の機関紙「海」は2013年以来発行されています。

地域で行われている諸運動に会員が参加し、闘いの息吹を伝え、わだつみ会の主張を伝えることを課題としています。年4回の発行を目標に活動しています。まだ会員でない皆さんの投稿も歓迎します。闘いの交流の場をめざします。

**** 機関紙『海』購読の手順 ****
4号分(ほぼ1年) 郵含1000円
MAILで名前と住所を連絡ください
: west_umi@khc.
biglobe.ne.jp
(関西わだつみ会)



不戦兵士を語り継ぐ会 機関誌「不戦」NEO

「不戦兵士の会」は悲惨な戦争を経験し、再び戦争を起させないために活動する組織として1988年に出発され、2023年に「不戦兵士を語り継ぐ会」として再出発しました。戦争が忍び寄る戦後最も危機的現状だからこそ不戦兵士が遺した言葉や活動の軌跡を世に問うことの意義が大きいとの考えで、機関誌「不戦(NEO)」を発行しています。

事務局に連絡いただければ機関誌「不戦」(500円)発送します。



「戦争をする国」にする教育・教科書を許すな！

中学教科書集会採択全国報告集会
戦争へとむかう教育を許さない！
 1月13日 14:00～ 国会会館3階大会議室

育鵬社教科書を全国で追放！

2024年、沖縄県八重山地区(石垣市、与那国町)、山口県下関市、石川県金沢市、大阪府泉佐野市が育鵬社採択をやめました。これで大阪府では育鵬社はゼロになりました。全国的にも1%を大幅に下回るのは確実です。教科書展示会でのアンケートをはじめ、全国の市民が粘り強く教育委員会に働きかけた成果です。



「戦争のための愛国」を刷り込む教科書が増えている

政府は今後、自衛隊を海外の戦争に派兵しようとしています。自衛隊はセクハラ、パワハラが後を絶たず、慢性的に人員不足です。そのため政府は待遇改善によって、生活苦にあえぐ若者を勧誘する

「経済的徴兵制」を進めています。そして、教科書で自衛隊の災害救助や平和貢献を強調して、子どもたちを「愛国兵士」に育成しようとしています。戦争を美化し、「愛する人を守りたい」なら、国防を最優先すべきだと教えようとしています。



建国記念の日反対！戦争NO！「日の君」強制反対！
生活破壊・人権抑圧を許さず
民主主義と人権・平和への前進を！

「紀元節」の亡霊である「建国記念の日」

紀元節の復活を目指す神社本庁や日本郷友連盟、遺族会などの運動を受けて自民党から1957年に「建国記念日」法案が提出され、何度も社会党等の反対で廃案となってきたが、1966年に、「紀元節」と同じ2月11日に「建国記念の日」として成立。「紀元節」は1873年(明6)に皇国史観の「神武天皇の即位の日」として2月11日に制定された。

皇国史観教育の中心であった三大節行事

小学校では、儀式や行事が大きな役割を担い、元日(1/1)、紀元節(2/11)、天長節(天皇誕生日)の三大節が重んじられ、式典では教育勅語が読み上げられ子どもたちの皇国教育の場となった。

民主主義と人権・平和への前進を！

今回の集会では、桜井智恵子さんの講演『『ケアする学校』と生政治』を中心に、各地からの報告なども行われる。

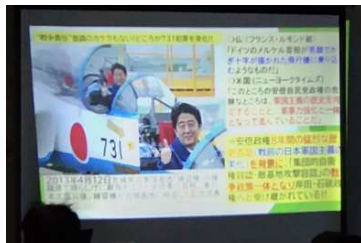
日時: 2月11日 13:30～
会場: 大阪市立浪速区民センター
集会後デモ行進をします
主催: 「日の君」強制反対大阪ネット



報告 「なぜ、今中国侵略を問題にするのか」

12月22日に映画上映と講演会が80人の参加で開かれた。映画「細菌戦部隊・731」が上映された。

引き続き森正孝さんの講演が行われた。講演の最初で、森さんは安倍元首相の自衛隊での写真を表示された。機体に「731」と記された戦闘機に得意満面に乗っている。これが象徴するように、安倍政権の登場以来、国家が主導する歴史修正主義が、「歴史戦」の名のもとに行われた。731部隊の免責問題は日本の未決の戦争責任の典型であるとして講演。



- ①日米による731部隊免責の経緯
 - ②731部隊の認識と真相究明の現状
 - ③細菌戦現地調査にて
 - ④「被団協」ノーベル平和賞と「侵略」講演の終わりにまとめとして、
- 一歴史の忘却・偽造・否定が新たな戦争を生む一

報告 沖縄県民大会同時アクション@大阪 米兵による少女性暴行を許さない

12月22日、沖縄市で100団体以上の賛同で「米兵による少女暴行事件に対する抗議と再発防止を求める県民大会」が開催された。大会には2500人が参加した。少女暴行事件を糾弾し、放置・隠ぺいした日米政府を弾劾し、①米軍と兵士に被害者への謝罪と補償②セカンドレイプの防止、③日米地位協定の抜本的改定を求める大会決議をあげた。

大阪でも「沖縄を再び戦場にさせない実行委員会」が呼びかけて同時アクションが行われた。扇町公園には約100人が参加した集会終了後、性暴力を許さないぞ！

米軍は謝罪しろ！
 政府は隠蔽するな！
 地位協定見直せ！
 などのコールをあげながら、梅田までデモを行った。(NOW)



韓国大統領弾劾(タネク)の闘いと 脱核(タレク)の闘い

「弾劾して脱核しよう」

12月14日、韓国国会で大統領訴追案が可決された。14日の集会には若者を中心に200万人が参加した。韓国人々は民主主義を守り発展させている。その集会に図のようなポスターが掲示された。そこにはハングルで「弾劾して、脱核しよう」と書かれている。



原発を推進し「原発最強国」をめざす尹政権

脱原発政策を進めていた文在寅政権から移行した尹錫悦政権は原発推進政策に転換しようとしていた。そのため中断中であつた2台の原発の建設再開と2台の新規建設を進めている。また日本と同じように老朽原発の寿命延長を進めている。韓国では26基が運転中(27.9%)であり、それを35.6%まで拡大しようとしている。

尹政権は、原発の海外輸出と小型モジュール炉(SMR)の開発を促進することで「原発最強国」を目指すとしている。日本と同じように原発内プールには核廃棄物が残り、乾式貯蔵施設が作られている。核廃棄物の貯蔵施設と最終処分場は日本と同様に進んでいない。

(「ノーニュークス・アジアフォーラム通信」191号より)

<https://www.nonukesasiaforum.org/japan/>

日本学術会議の「法人化」の動き 「監事」「レビュー委」による解体を許すな

2020年、菅政権が、会員候補6人の任命拒否を行ったことをきっかけに日本学術会議への政府の介入が問題となった。自民党は「国の機関」である学術会議を法人化することを提案した。また政府は「国の機関」であれば、会員選考に第三者関与などを提案した。その案は学術会議の反対で断念した。

政府は「有識者会議」を設立し、2023年に学術会議の「法人化」方針を決定した。この「法人化」案に対して、多くの科学者や大学教員の団体や、歴代の会長が連名で「法人化」反対を表明した。

2024年12月18日に有識者懇談会は「最終報告案」を発表した。この「法人化案」に対し学術会議は22日に臨時総会を開き審議した。会計監査の監事、活動を評価するレビュー委員会等を首相が任命することに反対意見が表明された。しかし会長や執行部は前進したとして、法案化に向け懇談会、政府と協議するとした。学術会議が崩壊しかねない危機であり、大学フォーラムなどは「法人化」に反対を表明している。

資料は：<http://no-military-research.jp>

	現状 (国の機関)	法人化後
会員の任命	首相	なし
監事	なし	→ 新設 (首相任命)
会員数	210人	→ 250人程度
会員選考	研究者の互選	→ 互選だが、外部から助言
財政基盤	経費は国庫負担	→ 国が引き続き支援

わだつみ会機関誌「わだつみのこえ」を購読ください

わだつみ会の機関誌「わだつみのこえ」161号は2024年12月23日に発行しました。

ぜひ購読いただきたいと思います (定価 1000円です。消費税、郵送料は当方負担)

申込み MAIL: info@wadatumikai.com 又は west_umi@khc.biglobe.ne.jp

「わだつみのこえ」161号(2024/12/23)の主な内容

【特集 8・18 日本戦没学生記念会平和集会】

岸田政権の大軍拡と戦争準備に NO!

池田五律

【特集 軍拡・戦争準備と闘う各地の闘い】

日米の「対中国戦争態勢」とは何か
戦争する国へ 未来の死者の声を聞け
軍事優先国家日本の大分から声をあげる
佐賀オスプレイ基地建設反対
呉を再び「軍都」にするな!

高井弘之
新垣邦雄
池田年宏
豊島耕一
西岡由紀夫
八木建彦
滝川順朗
役重善洋
小寺隆幸
田中正志
田村和男
末田一秀
宋 実成
松岡 勲

戦争がやってくる! 祝園弾薬庫建設
基地強化・戦争準備づくりをとめ、平和の実現
未完の交差的連帯 終わらない虐殺の中で考えること
戦争を準備する軍学共同と日本学術会議「法人化」
「鶉野飛行場跡」の展示は平和教育に反する
深刻になる過労死の現状
瀬戸内海を未来に引き継いでいけるのか
治安維持法で捕まった国民学校の朝鮮人の子供たち
書評「海の城 海軍少年兵の手記」「戦艦武蔵の最期」
わだつみ会 2024 秋期理事会報告、関西わだつみ会報告



日本戦没学生記念会
(わだつみ会)
機関誌

旧統一教会解散命令 年度内結論 (朝日 12/14)

東京地裁は13日に、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の解散命令請求の審理を来年1月に終結させる方針を示した。東京地裁は年度内に「解散命令」を出すかどうかの決定を行う可能性がある。

教員「残業代」10%増に引き上げへ (神戸 12/22)

現在4%の「教職調整額」を段階的に引上げ、30年には10%とする案が文科省と財務省で合意された。労働組合は全く無視されている。あわせて学級定員も35人に順次引下げる。

「教職調整額」を巡る主張	文部科学省	教員の処遇改善のため、2025年度に13%へ増額
	財務省	賃上げと働き方改革を同時に進めるため、残業時間縮減を条件に10%へ段階的引き上げ
	両省の合意	残業時間縮減などの条件を付けずに25年度から10%へ段階的引き上げ

ミャンマー武装勢力また管区を制圧 (神戸 12/22)

国軍と武装勢力の続くミャンマーで、21日に少数民族武装勢力が、西部ラカイン州の軍管区司令部を制圧した。全国14軍管区のうちでは2カ所目の陥落。各地で国軍の劣勢が鮮明となっている。

川崎重工 裏金12億円で海自接待 (朝日 12/23)

大阪国税局はこの6年間で12億円が所得隠しであり、経費と認められない交際費として追加徴税。川重は下請け会社に架空発注をして、それを裏金としてプールしてきた。自衛隊員の倫理法違反も監査実施。

東北大に卓越大資金 154億円 (神戸 12/25)

文科省は「国際卓越研究大学」の第1号の東北大学に対して初年度154億円の助成を開始した。

高浜原発2号 60年までの運転申請 (福井 12/26)

関電は12月25日、11月に運転開始50年を超える高浜2号機の「長期施設管理計画」を規制委に認可申請をした。新制度で60年の運転は認められているが、10年ごとに「長期計画」の認可が必要である。高浜1号基に続く2基目の申請である。

報告 12/28 神戸朝鮮高級学校コンサート (宝塚)

2010年鳩山民主党政権が、授業料無償化から朝鮮学校を除外したことに抗議して始まった宝塚でのコンサートは15回目を迎えた。28日に宝塚ソリオホールで開催された。佐々木代表の挨拶に続き熱意溢れる晴らしいコンサートが行われた。



案内 1/31 ミャンマー希望へのつどい



ミャンマーではクーデターから4年、6千人以上の犠牲者、避難民300万人以上で状況は悪化している。4年目の前日に日本で頑張るミャンマーの人々との交流会を開催。
日時: 1月31日(金曜)18:15~
場所: 尼崎小田南生涯学習プラザ3階
主催: 多文化共生と地域福祉の会ほか

案内 2/1 森友問題怒りのデモ (庄内)



安倍元首相、安倍昭恵氏、松井元大阪市長達によって引き起こされた「森友疑獄」は隠蔽され、裁判を妨害し、犯罪を隠そうとしている。我々は諦めない!
瑞穂の國小學院予定地前で集会。
日時: 2月1日(土曜)11時~
場所: 野田中央第2公園(庄内)
主催: 森友疑獄許すな! 実行委員会

案内 2/8 日本の食と農が危ない/川田龍平



日本の農業は危機にある。種子法の廃止、種苗法の改正で日本の農業を外資に売り渡している。その中で私たちが出来ることは何か?
日時: 2月8日(土) 14時より
場所: PLP 会館 4階中会議室
主催: 戦争あかん! ロックアクション

「アジアから問われる日本の戦争」展

この展示会に敢えて「アジアから問われる」という命題を付けた意図は、正に日本がかつて起こした戦争と、今後目論まれる戦争が、決して抽象的な「戦争」でない「侵略」であったことを示すためです。

2025年の戦争展は第7回となります。参加団体も約40団体に拡大して、5月4~5日に阿倍野で開催予定です。ぜひ協力ください。



設置理念に則ったピースおおさかを取り戻す会

「ピースおおさか大阪国際平和センター」では、2015年に戦争の悲惨さ、加害の記録が削除されてしまいました。「ピースおおさか」は市民の運動によって建設されたものです。私たちは、「設置理念」に基づく「ピースおおさか」を取り戻すために、ほぼ毎月「ピースおおさか」の入口で入場者への呼びかけと抗議のスタンディングを続けています。

入場者に日本語だけでなく英語、中国語、ハンガルのチラシも準備して戦争の悲劇を訴えています。



毎月の最終金曜日は 原発いらナイト in 宝塚

「原発いらナイト in 宝塚」は、福島原発事故の発生以来、毎月月末の最終金曜日に、阪急宝塚駅とJR宝塚の連絡橋でチラシを配布しています。サキソフォン演奏の下、約10人で120枚のチラシを配付しています。通行の皆さんとも顔なじみで、励ましの声をいただきながら続けています。次回の142回目の「いらナイト」は、
日時: 2025年1月31日17時~
場所: 阪急宝塚駅の連絡橋で

